

# 令和元年9月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 令和元年9月27日(金) 9時00分から10時09分まで  
2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎3階 301会議室  
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己  
教育長職務代理者 垂井 美千代  
委員 渡辺 義弘  
委員 安東 雅幸  
委員 神田 岳委

## 4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	甲斐 尊	学校教育課長	後藤 徳一
社会教育課長	大戸 敏雄	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課総括課長代理	麻生 幸誠
学校教育課総括課長代理	瀧澤 愛	社会教育課総括課長代理	安藤 隆文
文化・文化財課総括課長代理	神田 高士	文化・文化財課課長代理	東 貴則
教育総務課主査	米木 淳子	教育総務課主事	加藤由梨花

5. 傍聴人 木村 公治

## 1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日、欠席者0名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

開会に先立ち、ここで事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。傍聴に関しては、臼杵市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも教育長の許可を受ければ傍聴できることになっています。

傍聴は、教育長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するということにし

たいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 許可)

それでは、傍聴を許可することいたします。

(傍聴者 入場)

これより臼杵市教育委員会、令和元年9月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りいたします。次に、会議録署名委員に、渡辺委員と神田委員の2名を指名致します。

今回の日程のうち、

①報告第14号 専決処分の承認を求めることについて

(教職員(小・中学校)の内申について)

②第35号議案 文化の日被表彰者の推薦について

③「6. その他」の「出退勤システムについて」

の3つを非公開としたいので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」に基づき、採決を行います。賛成の委員は挙手をお願いします。

(委員 挙手あり)

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

## 2. 教育長報告

(教育長)

それでは、次第に沿って、2の教育長報告をいたしたいと思います。

3日 ・9月定例議会開会(10:00~25日)

4日 ・海洋科学高校「翔洋丸」出港式

今年は初めて、香川県多度津高校との共同運航ということで、合わせて33名が出航しました。天気も良くよかったです。

9日 ・英語弁論暗唱大会

垂井委員に出席してもらいました。

・校長会

10月からの幼児保育教育の無償化の件で、臼杵の仕組み等について校長先生方にも知ってもらいたく、説明しました。

10日 ・議会一般質問（～12日）

3日間あり、教育委員会関連は3つの質問がありました。

①小中学校のエアコン設置について

「整備されていない教室（相談室、給食の配膳室等）も整備できないか」というものでしたが、「基本的な使用頻度等も考慮して、職員室等の古いエアコンの入れ替えを優先したい」ということで、今のところその他のエアコン設置は考えていない旨を答弁しました。

②野津地域の幼小中の今後について

「小中一貫校で小学校が中学校に併設してできたときに、野津幼稚園はどうするか」という質問でしたが、「これはまだ正式に決まっていないので、今後動向等も見ながら検討したい」ということで答弁しました。

③野津地域の統合小学校について

6月の「野津高校の跡地の活用ということで小学校を作ってはどうか。」という質問に対して、「もし小学校を統合するのであれば、中学校に隣接する形で整備したい」と答弁したことに対して、経緯等について質問がありました。経緯と言っても、決定はしていないので、「今後そのような方向になれば、またお話ししたい」という旨を答弁しました。

12日 ・給食調理委託選定審査委員会

20日に業者のプレゼンテーションと採点がありますが、それに向けて採点方法について協議しました。

13日 ・職員採用試験委員会

応募状況についての話がありました。事務職上級33名、初級35名（障がい者1名含む）、消防職5名、建築0名という状況です。22日に試験がありましたが、結果はまだ聞いていないので、この中で何人が試験を受けたのかは把握できていません。また分かり次第ご報告したいと思います。

15日 ・川登小運動会

19日 ・部落解放同盟交渉

毎年行っていますが、今年は「部落差別解消推進法」が制定されて、具体的な取組みということで交渉がされました。今、「学校教育課人権同和教育室」の名称を市長部局が「部落差別解消推進・人権啓発課」と変えているので、これを受けて教育委員会も、来年の4月からになると思いますが、「部落差別解消推進・人権教育室」に変更したいということでお答えしています。

・定例教頭会

大分市で、女子中学生がマンションから飛び降りて自殺をしたということで、はっきり背景はわかりませんが、9月は自殺が非常に多いということなので、学校内でしっかり情報共有をするように話をしました。

- 20日 ・総合計画検討委員会  
先月の定例教育委員会でも協議していただきましたが、それぞれの分野ごとに検討会を進めています。この日は、観光産業と行政分野ということで協議しました。
- ・給食調理委託選定審査委員会  
業者のプレゼンテーションと採点をこの日に行いました。後ほど担当課長より詳細をお話しします。
- 21日 ・運動会延期（南野津小、野津小等）  
この日に運動会を予定していた学校がありましたが、台風17号の接近でそれぞれ延期しました。
- 24日 ・校長面談（～10月7日）  
目標管理の中間ヒアリングを行っています。
- ・総合計画検討委員会「学び（教育委員会関連）」
- 25日 ・9月定例市議会最終日
- 28日 ・運動会（佐志生小、海辺小等）
- 29日 ・運動会（下ノ江小、福良ヶ丘小等）  
今のところ延期等は聞いていないので、予定通り行うと思います。

以上で説明を終わります。垂井委員から何かあればお願いします。

（垂井委員）

英語弁論暗唱大会ですが、暗唱の部については、学校自慢や劇、趣味・特技（日本舞踊、ダンス等）がありました。非常に内容が多種多様で1、2年生が楽しく、明るく、元気ということで紹介をしていました。弁論の部については、身近な学校生活や、将来の夢等をテーマにしていました。一昨年くらいから、生徒数に応じて出場枠が決まっているようで、最終的に1人しか出られないそうです。しかし、各学校の生徒たちは本当によく練習をしていて、一生懸命でした。内容に合わせた表情をしたり、よく伝わってきた良い大会だったと感じました。

（教育長）

ありがとうございました。その他、質疑等がありましたらお願いします。

（意見なし）

### 3. 協議事項

（教育長）

これより「次第3. の協議事項」に入りますが、「報告第14号」に入る前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

(教育長)

次に、第36号議案に移りますが、その前に、傍聴者の入場を許可します。

(傍聴者 入場)

それでは、第36号議案の「臼杵市立学校職員安全衛生管理規程の一部改正について」を説明します。

(学校教育課長)

第36号議案 臼杵市立学校職員安全衛生管理規程の一部改正について

臼杵市立学校職員安全衛生管理規程(平成17年臼杵市教育委員会訓令第7号)の一部改正について、臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年教育委員会規則第6号)第1条第2号の規定に基づき議決を求めるものです。理由としては、労働安全衛生法の改正に伴い、臼杵市学校管理医の名称変更及び職務の追加をする必要があるためです。

内容としては、第9条「教育委員会に、学校職員管理医を置く。」としていたものを「学校職員産業医を置く。」と名称を改めています。また、今後働き方改革等進む中で、面接指導等も入ってくるのが予想されますので、(3)「健康相談」の次に「面接指導」を追加しています。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

第36号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

#### 4. 学力向上について

(教育長)

続きまして、「4. 学力向上」に移ります。1つめの「平成31年度 全国学力・学習状況調査および大分県学力定着状況調査において成果の見られた学校の取組事例の報告について」説明をします。

(学校教育課長)

まず、全国の平均正答率との差についてですが、平成28年に小学校で「11.1」だったのが、中学生になって、今年度「1.6」となっており、予算措置等をしていただく中で向上しているということがわかっています。

続いて、教科ごとの分析です。小学校国語は、全国値を超えているという結果になっています。算数は、全国も大分県も上回っています。中学校は、国語と英語はほとんど県と変わりませんが、数学のみ県及び全国の値を下回っています。

続いて、児童生徒質問紙、学校質問紙の分析についてです。全体に言えることは、「よく本を読んでいる子は正答率が高い。」ということです。図書館活用教育を今後も進めていかなければならないことが集計表から読み取ることができます。「カリキュラム・マネジメントの実施」、「全国学調の問題を活用したか」、「学校内での課題の共有と組織的な対応をしたかどうか」ですが、だんだん活用が進んでいっています。しかし、全国学調を使った問題の活用については、少し下がっていて、点数が伸びているためか少し気の緩みも見られるのかなというような結果となっています。

次に、「臼杵市全体の学力向上における喫緊の課題」ですが、小学校5年生の県の学調の偏差値が順調に伸びているのに比べて、1年後の6年生の全国学調の結果はかなり凸凹になっており、何か課題があるのではないかとということが示されていると思います。

そして、「芯の通った学校組織」をもとにした「チーム学校」の実現ということで、「先生どうしがつながる」、「子どもどうしがつながる」、「保護者・地域とつながる」をテーマに8つのポイントに沿って「チーム学校」の取組みをしていこうということを各学校に通知していきたいと考えています。

最後に、「成果の見られた学校」として、大分県教育委員会のホームページ掲載、新聞等で紹介される対象となる学校を資料にのせています。「大分県学力定着状況調査」が4校、「全国学力・学習状況調査」が5校となっています。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

次に、「国立教育政策研究所統括研究官 千々布敏弥先生 学校訪問の報告について」説明をします。

(学校教育課長)

国立教育政策研究所統括研究官の千々布敏弥先生が来県し、事務所ごとに高取組みをしている学校に訪問しました。臼杵市においては、9月18日に臼杵小に訪問されました。曜日の入れ替えをして、水曜日の6校時にあたる時間への訪問でした。視察の実際として、4、5、6年生の授業公開をし、5年生は家庭科の授業がありました。6年生は、習熟度別の算数の授業を見ていただき、指導を受けました。

意見交換では、「授業だけでなく、掃除等も行き届いていて素晴らしい。」というお言葉をいただきました。また、「板書等よく整えていて、指導が行き届いている。」ということで、桑原校長が絶賛をされていました。

千々布先生の見立てとしては、「主体的・対話的で深い学び」と言われている中で、「深い学びはかなりできている。」ということでした。ただ、「主体的・対話的」という部分で課題があり、特に「主体的」な部分では「児童が見通しを持てると主体的に学び始める。」という言葉があり、「今後、見通しを重視した「主体的・対話的な学び」を研究して欲しい」という話がありました。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

## 5. 教育予算等について

(教育長)

それでは、次の「5. 教育予算等について」に入ります。委員の皆様から、教育予算に関して何か要望等ございませんか。

(意見なし)

## 6. その他

(教育長)

これより、「6. その他について」に入ります。  
まず、「学校訪問について」を説明します。

(学校教育課長)

11月6日～18日にかけて、授業参観を中心に第2回学校訪問をお願いしたいと考えております。1クラス5分程度、指導の時間が20分ということで時間を計算しています。

1回目の訪問の後、なるべく日数を減らした方がよいという話もお聞きしましたので、給食を食べて、午後までという計画を立てています。中学が5時間目のスタートが早いので、午後は中学校を入れています。

(教育長)

毎回給食は2回ですが、今回は4回あります。午後までとなりましたが、日程等どうでしょうか。

(意見なし)

続いて、「第42回大分県人権教育研究大会及び第5回大分県人権・同和保育研究集会について」を説明します。

(学校教育課長)

10月18日、19日に県下から約1,000人の教職員及び行政関係者が臼杵に集まり、人権教育・同和教育等の研修を行います。詳細については、資料をご覧ください。

(教育長)

大分県人権教育研究大会と大分県人権・同和保育研究集会を一緒に開催するという事です。都合がつけばご参加いただければと思います。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

続いて、「マレガ・プロジェクトについて」を説明します。

(文化・文化財課長)

チラシが3枚あると思います。

まず、「マレガ収集日本資料の発見と豊後キリシタン研究の新成果」ということで、10月26日にバチカン図書館長である、チャーザレ・パシーニさんの講演があります。臼杵市には24日に、キリシタン関係の遺跡を周るように準備をしているところです。26日については、第2部で高田高校の佐藤校長から「禁教初期における臼杵藩のキリシタン対策」、その後、「臼杵藩宗門奉行と類族制度」という形で臼杵に関わることが多く話されます。これについては、県の先哲史料館で事務局をしていますが、臼杵から参加していただけるのであれば、席を多く確保してくれるとのことですので、委員の皆さんの希望があれば、用意しておきたいと思います。

続いて、「大分のキリスト教史」ということで、先哲史料館で9月21日～11月4日ま



で企画展をしています。臼杵藩の史料も一部展示されています。踏絵等、東京国立博物館からきた、国指定重要文化財もあり見応えのあるものとなっています。昨年まで、臼杵の歴史資料館にいた松原さんが今、先哲史料館の方に行っており、今回担当として動いていますので、是非見ていただきたいと思います。

最後に、「秋の臼杵市文化財講座」という形で、今のところ11月16日、23日、30日に行う予定で進めています。これは、昨年の国民文化祭で取組みを始めた、マレガ関係の史料講座です。千田先生をお呼びし、昨年度、臼杵の城下町等の成り立ちについて行っていますが、継続する形で今年度も実施したいと思っています。また詳細等が決まれば、皆さんにお知らせしたいと思っています。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

次に、「臼杵市学校給食センター調理業務委託事業者の選定について」を説明します。

(学校給食課長)

これまでも何度か説明していますが、臼杵と野津の給食センターの調理業務、洗浄業務を民間業者に委託するものです。委託業務の開始は、令和2年の8月1日です。業者の選定に関しては、「臼杵市の地域と保護者と学校現場とみんなで作っていく学校給食」の理念を実践できる会社であるかどうかを重視しました。そのために、見積価格だけで決定する一般競争入札ではなく、提案にて決定する公募型のプロポーザル方式にて行いました。

選定にあたっては、「安定した経営であるか」、「学校給食事業における実績」、また、臼杵市の取組みである「給食畑の野菜の活用」、「手厚いアレルギー食対応が実践できるか」、「現在、市が雇用している非常勤職員、臨時職員を引き続き雇用してくれるか」、「衛生、危機管理の取組み」をポイントに置きました。

応募資格としては、「法人格を有し、安定的な財政能力を有していること」、「実績として、1日2,000食以上の学校給食施設での調理業務委託を3年以上行っていること」、「県内に事業所を有すること」、「現地説明会(8月1日)に出席すること」とし、選定を行ってきました。

まず、6月25日に「学校給食センター運営委員会」にて、選定の基準等を説明しご意見をいただきました。その後、「審査委員会」を開き、7月12日にホームページにて募集要項を公表しました。

そして、9月12日の「審査委員会」で基準を最終確認し、9月20日にプレゼンテーションを行いました。最終的に2社の応募があり、横浜市を本社とする「ハーベストネクスト

(株)」と、東京都を本社とする「(株)東洋食品」が行いました。資料に5人の審査員の採点の平均を出していますが、「(株)東洋食品」が多くの得点をとったという結果になりました。

「経営状況」や、「臼杵の給食の活動への協力体制」、「組織体制」、「危機管理体制」、「アレルギー食の対応」、「受託してからスタートするまでの研修計画について」の点が高いということで、審査委員会としては、「(株)東洋食品」を候補事業者として決定しました。これを受けて、審査委員長である教育長から市長に報告をし、最終的に臼杵市として候補者を決定したうえで、今後協議を行っていき、来年4月からスムーズに運営が行われるようにしていきたいと思っています。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(垂井委員)

「臼杵の給食は、本当にアレルギーへの対応が細かくてありがたい。」ということで、臼杵に移住を決めたという方がいらっしやったと思いますが、アレルギーへの対応で高い点数を取っていることもよいと思いました。今後も、アレルギーへ対応は注意をしておかないといけないし、午前中の活動と午後の活動を結ぶ大事な昼ご飯なので、そのような点でもよいと思いました。

(教育長)

次に、最後の「出退勤システムについて」を説明する前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

これもちまして、9月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

---

会議録署名委員

---

会議録作成者

---